

平成 21 年 5 月 22 日現在

研究種目：基盤研究（C）  
 研究期間：2007～2008  
 課題番号：19520480  
 研究課題名（和文） 小中高一貫型語彙シラバスの開発と実践  
 研究課題名（英文） Development of a Consistent Vocabulary Teaching Syllabus through Elementary School to High School  
 研究代表者  
 西垣 知佳子  
 千葉大学・教育学部・准教授  
 研究者番号：70265354

## 研究成果の概要：

日本および近隣アジア諸国の英語教科書コーパスを作成し、日本の英語教科書語彙を「カバー率」「意味領域の分布」「小中高の一貫性」等の観点から観察し、教科書語彙の実態を捉えた。さらに、小中高それぞれのための「基礎語彙」を選定した上で、喫緊の課題である小学校英語のための語彙教材を、カード教材および携帯ゲーム機を用いたデジタル教材の形で開発した。教材は小中高の連携に配慮したもので中高でも使える。開発した教材は有効性が認められ、検定教科書出版社より学校用教材として市販された。

## 交付額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2007年度	2,100,000	630,000	2,730,000
2008年度	1,400,000	420,000	1,820,000
年度			
年度			
年度			
総計	3,500,000	1,050,000	4,550,000

## 研究分野：人文学

科研費の分科・細目：言語学・外国語教育

キーワード：英語教育，語彙指導，コーパス

## 1. 研究開始当初の背景

「21世紀は対話の世紀」と言われる。国際語としての役割を果たす英語習得の必要性は急速に増大し、「英語が使える日本人」（文部科学省，平成15年）の養成が重要な課題となっている。そのような状況のもと、平成18年3月の中央教育審議会外国語専門部会の報告書では、小学校英語の必修化が提言され、従前の中学、高校を基盤とした日本の英語教育は転換期を迎えた。

世界各国では、急速なグローバル化の進展に対応するため、外国語教育改善の努力

がなされている。日本と同じ英語学習環境にある中国、韓国、台湾では、外国語教育が国策として捉えられ、政府主導の取り組みのもと、統一的な英語教育の目的・目標に基づくナショナル・シラバスが設定されている。翻って日本では、政府によって「『英語が使える日本人』育成のための行動計画」が策定されたが、英語教育の目的・目標が不明瞭で、教育内容に一貫性を欠くため、これらの施策は抜本的改善とはなっていない。

以前から「効果をあげていない」と強い批判にさらされてきた日本の英語教育で

あるが、その原因の一つに小中高の教育内容の一貫性の欠如が指摘され(樋口:2005, 小池:2006), 英語教育におけるナショナル・シラバスの設定が強く望まれている。

そこで本研究課題は、言語力の基盤である語彙に絞って、効率的で連続性のある英語教育に資する「小中高一貫型英語語彙シラバス」をデザインし、それを実際に指導するための教材開発を行うことを目的として行われた。

## 2. 研究の目的

「小中高一貫型英語語彙シラバス」を提案するために、次の3つの研究目的を設定した。

- 1) 各種英語教科書コーパスの作成と分析
- 2) 多様な語彙学習教材の開発
- 3) 指導実践による指導効果の検証

## 3. 研究の方法

上記3つの研究目的を達成するために、次のような方法で研究を行った。

### (1) 各種英語教科書コーパスの作成と分析

研究代表者と連携研究者は、20年以上にわたって語彙研究を行ってきた。そのため多様な英語教科書コーパスを保有している。本研究課題では、これまでに蓄積した英語教科書コーパスに、最新版の教科書を加え、複数年代にまたがる英語教科書コーパスを作成する。併せて東アジア近隣諸国の英語教科書コーパスを作成する。

次に、収集した教科書コーパスに基づいて各種の「英語教科書語彙リスト」を作成し、「カバー率」「学年分布」「頻度分布」「特徴語」「意味領域の分布」「時代的变化」「小中高の一貫性」等の観点から教科書出現語彙を質的、量的に比較する。

こうした得られた基礎研究の成果を統合して、各学校レベルに適した小中高校用の「基礎語彙」を選定する。さらに「小中高一貫型英語語彙シラバス」について検討する。

### (2) 多様な語彙学習教材の開発

1) で選定された小中高校用の「基礎語彙」を指導するための教材を開発する。本研究では、喫緊に開発が必要とされている小学校英語活動用の教材を基盤教材として開発し、それらを中学校や高校でも発展的に使えるような小中高の連携に配慮した教材を作成する。

教材は、①従来型の紙ベースの教材、②ICT時代にふさわしいPSPやDSのような携帯ゲーム機を利用する教材を作成する。

### (3) 指導実践による指導効果の検証

開発した教材は、小学校をはじめとする学校現場で実践し、指導効果を検証する。効果の検証はおもにリスニングテストおよび質問紙調査によって行う。

## 4. 研究成果

研究成果は、平成19年度と20年度に分けて述べる。

### (1) 平成19年度研究成果

- ① 高校生の英語作文を分析し、高校生学習者の英語語彙使用の実態を観察した
- ② 高校英語検定教科書95冊分を入力・分析し、語彙の出現状況を調査した。さらに高校教科書出現語彙が小中英語教科書でどのような出現状況にあるかを調査した。
- ③ 小中高英語教科書の出現語彙を分析し、小中高の教科書にはどのような語彙が多く出現するか、どの程度の重複があるか、大学入学までに学習できる語彙の種類はどの程度か、使用する教科書によって学習語彙にどの程度の差異が生じるかなどについて定量的に観察した。
- ④ 独自に選定した「小学生のための生活基礎語彙500」を指導するためのカルタ教材を開発した。実際に使用し、その効果を調査し、改良すべき点を明らかにした。
- ⑤ 小学校英語と連携させる形で、「中高生のための生活基礎語彙」を選定し、教材を作成した。実際に高校で使用し、効果を確認し、さらに改善すべき点を明らかにした。
- ⑥ 小学生のための語彙指導の方法のひとつとして「読み聞かせ」を行い、その指導効果を調査した。

### (2) 平成20年度研究成果

- ① 平成20年4月に文部科学省により公表された小学校「英語ノート」(平成20年4月)のコーパスを構築し、現行の中学校教科書語彙との連続性を分析した。
- ② 韓国、台湾の中・高検定教科書コーパスを作成した。作成したコーパスは教材開発のための参考資料として活用した。
- ③ 独自に作成した小中高の学校教科書コーパスを比較・検証し、日本の学校英語教育で扱われる語彙について、「カバー率」「学年分布」「頻度分布」「特徴語」「意味領域の分布」「時代的变化」「小中高の一貫性」という観点から、実態を明らかにした。
- ④ 基礎的研究の成果に基づいて選定された語彙を指導するための教材開発を行った。とりわけ中学校以降の教科書語彙では不足することが判明している「日常生活語彙」を指導するための紙ベースの「カルタ教材」を開発した。カルタ教材の作成は前年度から継続して行っているものである。
- ⑤ 開発したカルタ教材を「多言語」学習用

- 教材へと発展させ、中国語語彙学習教材、および朝鮮語語彙学習用教材を作成した。
- ⑥ ICT時代を生きる子どもたちの学習形態を考慮して、携帯ゲーム機を使った語彙指導教材を開発した。
  - ⑦ 紙ベースのカルタ教材は、小学校と中学校で指導実践を行い、指導効果を検証した。
  - ⑧ カルタ教材の独自性と指導効果が検定教科書出版会社に認められ、学校教育用のカルタ教材の開発を行った。

2年間にわたる本研究をとおして、日本をはじめ近隣諸国の英語教科書コーパスを作成し、それをもとに、小学校用基礎語彙リスト、中学校用基礎語彙リスト、高校用基礎語彙リストをそれぞれ作成した。また教科書コーパスの比較分析の結果、日本の英語教科書語彙の実態を捉えることができた。さらに、基礎研究の成果に基づき、科学的手法で選定された語彙を、指導理論に沿った形で学習できる教材を作成した。教材はさらに多言語語彙の学習用教材として応用利用し、中国語語彙学習教材、朝鮮語語彙学習教材を開発した。作成した教材は紙ベースの教材から携帯ゲーム機を使用するものまでであった。開発教材は、その有効性が認められ、検定教科書出版会社から学校用指導教材として市販された。

#### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 16 件)

- ① 西垣知佳子, 中條清美, 小松幸子, 小学校英語のための語彙教材の開発と実践, 日本大学生産工学部研究報告 B, 42, 2009 印刷中, 査読有
- ② 中條清美, 西垣知佳子, 宮崎海理, 小学校5・6年生「英語ノート」の語彙一覧, 日本大学生産工学部研究報告 B, 第 42 巻, 2009 印刷中, 査読有
- ③ 西垣知佳子, 中條清美, 内山将夫, 多言語運用能力養成のためのマルチ・ランゲージ語彙学習教材の開発, 千葉大学教育学部研究紀要』57, 253-259, 2009, 査読無
- ④ Katsuyama, Hitomi, Nishigaki, Chikako, and Jingfang Wang, the Effectiveness of English Teaching in Japanese Elementary Schools, *RELC Journal*, 39 (3), 359-380, 2008, 査読有
- ⑤ 西垣知佳子, 中條清美, 内山将夫, 携帯ゲーム機の特徴を活かした語彙学習教材の開発, 信学技報, 電子情報通信学会, 思考と言語研究会, 108, 13-16, 2008, 査読有
- ⑥ 砂岡和子, 新田小雨子, 西垣知佳子, 中條清美, 内山将夫, 子供英語語彙との比較による中国語初級検定語彙の意味特色, 日本中国語学会第58回全国大会大会要綱集, 352-356, 査読有
- ⑦ 西垣知佳子, 中條清美, クリス・カトウ, 小学生のための英語の語彙指導と教材開発, 日本児童英語教育学会研究紀要, 27, 67-79, 2008, 査読有
- ⑧ 中條清美, 長谷川修治, 西垣知佳子, 1980年代と2000年代の高等学校英語教科書語彙, 日本大学生産工学部研究報告B, 41, .57-89, 2008, 査読有
- ⑨ 長谷川修治, 中條清美, 西垣知佳子, 中・高英語検定教科書語彙の実用性の検証, 日本大学生産工学部研究報告B, 41, 49-56, 2008, 査読有
- ⑩ 中條清美, 長谷川修治, 西垣知佳子, 「ゆとり教育」時代の高校教科書語彙を考える -1980年代と2000年代の高校英語教科書語彙の比較分析からの考察, *English Corpus Studies*, 15, 57-79, 2008, 査読有
- ⑪ 小松幸子, 西垣知佳子, インタラクションを促す英語絵本の読み聞かせとその効果, 小学校英語教育学会紀要, 8, 53-60, 2008, 査読有
- ⑫ 西垣知佳子, 中條清美, クリス・カトウ, 小学校英語必修化に対応する小・中・高一貫型の語彙指導—中・高生用生活語彙カルタの作成と実践, 千葉大学教育学部研究紀要, 57, 253-259, 2007, 査読無
- ⑬ 西垣知佳子, 中條清美, 西岡菜穂子, 小学校英語テキスト出現語彙の意味領域による分析, *JASTEC研究紀要*, 26, 15-26, 2007, 査読有
- ⑭ 中條清美, 西垣知佳子, 吉森智大, 西岡菜穂子, 小, 中, 高一貫型英語語彙シラバス開発のための基礎研究, *Language Education & Technology*, 44, 23-42, 2007, 査読有
- ⑮ 中條清美, 吉森智大, 長谷川修治, 西垣知佳子, 山崎淳史, 高等学校英語教科書の語彙, 日本大学生産工学部研究報告B, 40, 71-92, 2007, 査読有
- ⑯ Nishigaki, C., Chujo, K., McGoldrick, S. and Hasegawa, S A Cross-Sectional Contrastive Analysis of Japanese Students' English Composition Skills, *The Journal of Asia TEFL*, 4 (1), Spring, 27-54, 2007, 査読有

[学会発表] (計 8 件)

- ① 西垣知佳子, 中條清美, 内山将夫, 携帯ゲーム機の特徴を活かした語彙学習教材の開発, 電子情報通信学会, 思考と言語研究会, 11/15/2008
- ② 砂岡和子, 新田小雨子, 西垣知佳子, 中

條清美, 内山将夫, 子供英語語彙との比較による中国語初級検定語彙の意味特色, 日本中国語学会第58回全国大会大会, 26/10/2008

- ③ 西垣知佳子, 中條清美, 小学校『英語ノート』の語彙, 第34回全国英語教育学会東京研究大会, 昭和女子大学, 8/10/2008
- ④ 西垣知佳子, 小松幸子, 中條清美, 英語マルチカルタを使った生活語彙の指導, 第8回小学校英語教育学会福島大会, ビッグパレットふくしま, 7/21/2008
- ⑤ 中條清美, 長谷川修治, 吉森智大, 西垣知佳子, 1980年代と2000年代の高校英語教科書語彙の比較分析, 第46回JACET全国大会, 安田女子大学, 9/7/ 2007
- ⑥ 小松幸子, 西垣知佳子, 音声英語の習得を促すシェアード・リーディングの効果と検証, 小学校英語教育学会, 第7回全国大会, 鳴門教育大学, 8/19/2007
- ⑦ 西垣知佳子, 中條清美, 西岡菜穂子, Christopher Kato, 英語マルチカルタを使用した中高生のための生活語彙の指導, 全国英語教育学会第33回大分研究大会, 大分大学, 8/5/2007
- ⑧ 西垣知佳子, 中條清美, 櫻村雅子, 英語・生活語彙カルタの開発と指導, ASTEC (日本児童英語教育学会) 第28回全国大会, 大東文化大学, 6/9/2007

〔図書〕(計 1 件)

西垣知佳子, 中條清美, オヒガン・キャット編著, デイリー英単語あら・かるた, 開隆堂, 2009, 192 頁

## 6. 研究組織

### (1)研究代表者

西垣 知佳子 (NISHIGAKI CHIKAKO)  
千葉大学・教育学部・准教授  
研究者番号: 70265354

### (2)研究分担者

### (3)連携研究者

中條 清美 (CHUJO KIYOMI)  
日本大学・生産工学部・准教授  
研究者番号: 50339272